

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	その他	授業の方法	演習
科 目 名	専門職連携		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	前田 直人 須崎 正敏	実務経験と その関連資格	前田:臨床工学技士として市立堺病院(現 堺市立総合医療センター)で15年勤務。 その後、医療系商社にて海外事業に従事。Green Hospital Myanmar Ltd. 取締役 (2014年~2020年)			
《授業科目における学習内容》						
医療分野における多職種連携の重要性と効果的な協働を理解し、実践することを目的とする。チーム医療の基本原則から具体的な連携方法まで、医師、看護師、その他の医療専門職との連携に焦点を当てて、医療提供の質を向上させるためのコミュニケーションスキルやチームワークの技術を深める。また、多職種間での効果的な連携とコミュニケーションスキルを習得し、現代の医療環境における協力的なアプローチを実践できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート課題、面接試験70%、平常点10%、出席点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
臨床実習が楽しくなる本 改訂2版						
《授業外における学習方法》						
授業後の復習を行うこと。						
《履修に当たっての留意点》						
グループワークを通じて、実際の状況を想定した課題解決能力を養い、最終的には学んだ内容をまとめて発表することで、知識の定着と応用能力を評価します。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療とは(1)	教科書	授業後の復習をしておくこと。	
		各コマにおける授業予定	チーム医療の定義と歴史 チーム医療の必要性とその利点			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	チーム医療とは(2)	教科書	授業後の復習をしておくこと。	
		各コマにおける授業予定	チーム医療の成功要因と挑戦 ケーススタディによるチーム医療の理解			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携(1)	教科書	授業後の復習をしておくこと。	
		各コマにおける授業予定	多職種連携の原則と目的 効果的なコミュニケーション技術			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	多職種連携(2)	教科書	授業後の復習をしておくこと。	
		各コマにおける授業予定	連携を阻害する要因とその対策 チームビルディング活動			
第5回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	医師との連携(1)	教科書	授業後の復習をしておくこと。	
		各コマにおける授業予定	医師と協働する際の役割理解 相互尊重に基づいた関係構築			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	医師との連携 (2)	教科書	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	意思決定過程での医師との連携 実践的なコミュニケーションケーススタディ		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	看護師との連携 (1)	教科書	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	看護師の役割とチーム内での位置付け 効果的な情報共有と協働の技術		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	看護師との連携 (2)	教科書	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	緊急時の看護師との連携 臨床現場でのコンフリクトマネジメント		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	その他の医療職との連携 (1)	教科書	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	薬剤師、理学療法士等、その他専門職との連携の重要性 各職種の特長と貢献を理解する		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	その他の医療職との連携 (2)	教科書	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	連携を深めるための具体的な戦略とツール ケーススタディを通じたチームアプローチの探求		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	グループワーク (1)	教科書	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	実際の医療シナリオの設定 グループによる問題解析と初期対応策の計画		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	グループワーク (2)	教科書	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	解析結果の共有とフィードバック さらなる解決策の検討と計画の最終化		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	グループワーク (3)	教科書	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	実装戦略の策定 最終計画のプレゼンテーション準備		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	まとめ発表	教科書	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	各グループによる最終プランのプレゼンテーション 質疑応答とフィードバックセッション		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	まとめ発表	教科書	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	各グループによる最終プランのプレゼンテーション 質疑応答とフィードバックセッション		